

「まかせんさい」広島市女性農業士 ～この1年をふりかえって～

第6期・第2号

(平成19年度)

発行:平成20年3月 (財)広島市農林水産振興センター 指導課

〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30-12
TEL(082)845-4376 FAX(082)842-2149

第6期広島市女性農業士 修了式



平成20年2月1日に農業振興センターで先輩女性農業士や女性活性委員が見守る中、「まかせんさい」広島市女性農業士第6期生の研修の修了式が行われました。渡田理事長から修了証書が渡されたあと、木村佐代子さんは「いろいろな研修を受けました。地域の中でもがんばります。」久保富士子さんは「2年間はあっという間にすぎました。勉強の成果を生かしていきたい。」平奈岐佐さんは「家族の協力があって研修に参加できました。これからもがんばります。」と話をされました。

今後も先輩の女性農業士の皆さんとともに活躍して下さることを期待しています。

2年間の研修内容

1年目(平成18年度)	2年目(平成19年度)
6月 女性農業士に望まれること 講師: 1～5期広島市女性農業士 8月 表現力の向上について 講師: 大崎恵美子氏(話し方研究家) 9月 市内農業視察(佐伯区、安佐南区ほか) 11月 女性消費者をみかたにつけるには 講師: 野村怜子氏(日本IBM広島事業所顧問) 2月 基本的な給餌について 講師: 新出昭吾氏(広島県立畜産技術センター) 3月 優良事例調査(天恵の里、吉賀町柿木村、船方総合農場)	8月 市内農業視察(安佐南区・安佐北区ほか) 9月 加工所の開設について(広島市保健部食品保健課、パセリ館、トムミルクファーム) 10月 わかりやすく説明する5つのポイント 講師: 大崎恵美子氏(話し方研究家) 11月 広島市の農業について 講師: 戸田均史氏 (財)広島市農林水産振興センター) 1月 全国優良事例調査 (島根県女性農業者との交流会) 2月 梶谷農園～女性の視点を農業に生かそう 講師: 梶谷きよみ氏(梶谷農園取締役)

広島市女性農業士とは

広島市女性農業士は、農家女性のリーダーとして広島市が認定するものです。女性農業者の社会参加の促進と、農業者全体の社会的地位向上を目指し、地域でさまざまな活動を行なっています。現在18名が認定されています。

がんばっています! 広島市女性農業士

これまでに研修を修了した女性農業士は広島市の農業委員や農業振興対策審議会委員として、また地区での農事研究会や直売所グループの会長等になって活躍の輪を広げています。ここではそのほかの地域活動や女性農業士全員が所属する女性活性委員会での活動の様子を一部ご紹介します。



●食育の授業に参加 ～子どもたちに農業をアピール

食育の重要性が話題になっていますが、広島市女性農業士も要望のあった小学校に出向いて、子どもたちに農業の大切さや感動を話したり、田植え実習などをやさしく指導しました。農繁期の依頼が多いのが悩みですが、今後できるかぎり「食べ物の大切さ」を子どもたちに伝えていきたいと思っています。



●野菜ソムリエ*と交流 ～ひろしまそだちをPR

(※野菜ソムリエとは日本ベジタブル&フルーツマイスター協会が認定した人の通称です)

平成19年5月12日三井ガーデンホテルで開催された、ベジフルコミュニティ広島の設立1周年記念イベントに生産者ゲストとして女性農業士ほか7名が参加し、自慢の野菜をアピールしました。また平成20年3月2日には己斐公民館で第6期女性農業士の木村佐代子さんが講師になり野菜や牛乳を使った料理を野菜ソムリエに紹介し、広島市内産の美味しい食材をアピールしました。この会に参加した野菜ソムリエの提案で、新規オープンするカフェのメニューに砂谷の牛乳を使った「カフェラテ(コーヒーの上に泡立てた牛乳をのせたもの)」が加わるようになりました。



●直売所の売上アップ! 地域に加工所設立～女性農業士のネットワークを生かす

直売所の魅力アップには加工品がかかせません。第3期女性農業士の竹内厚子さんの所属する「生砂やまゆりの会」や第6期生女性農業士の所属する「カントリーポケットゆき」木村佐代子さんのグループでは先輩女性農業士達の加工所を見学し情報収集を行いました。自分たちの加工所で特長のある加工品を作り消費者の皆様に喜んでもらいたいと思っています。

